



お餅こちに投げて～！ 第2回いきいき祭り

総合誌

おきのしま

隠岐の島

2007
睦月
January
vol.027
1

OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 16,986(-8)人 男 8,053(-2)人 女 8,933(-6)人 世帯数 7,385(+10)戸

(平成18年12月1日現在、カッコ内は前月比)

● 回想・隠岐の島2006 町の一年を振り返る

回想・隠岐の島町2006 町の一年を振り返る

平成18年もあと一週間ほどを残すのみとなりました。今年には新隠岐空港開港や産婦人科医問題、隠岐汽船問題など町のありかたや町民生活に関わる大きな出来事が多かったように感じます。ここで、一年間の主要な出来事を振り返りたいと思います。

1月～ 鬼太郎フェリー就航



テープで盛大に就航を祝いました

「鬼太郎フェリー」は、「ゲゲゲの鬼太郎」の作者水木しげるさんの祖先が隠岐の島町出身という縁で、隠岐青年会議所が呼びかけ、隠岐汽船など関係団体が協力して実現しました。今年1月19日、境港で就航記念式典が行われ、翌20日、西郷港から島前経由境港行きの便で初出航を迎えました。

町民の皆さんは乗る機会の少ない「しらしま」ですが、まだ乗ったことのない方は鬼太郎との船旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。

1月～ 火災が多発 発件数は例年の6割増

一昨年、昨年と10件にとどまっていた火災発件数ですが、今年はその大きき上回る16件となり（うち山林火災8件、12月13日現在）、火災の多い一年となりました。

火災発生の時期は1月～3月が多く8件で、わずか3ヶ月で昨年の件数にせまっています。特に気をつけるべき空気が乾燥した時期に多くの火災が発生していますので、今冬はさらに火の

7月6日 新隠岐空港開港

小型ジェット機が就航できる2,000mの滑走路を備えた新隠岐空港が7月6日開港し、記念式典やイベントが行われました。



2ヶ月間、満員に近い利用率を維持しました

ジェット機の就航は7月6日～8月末までの期間限定で、採算性の問題から来年も就航するかどうかは今年の搭乗率次第という条件でしたが、最終的には目安の70%を大きく超える搭乗率87・8%という結果で、来年以降の就航に望みをつなぎました。皆様、ご協力ありがとうございました。

7月～ 隠岐古典相撲大会 & 隠岐相撲祭りを開催

慶事のあった年に開催される隠岐古典相撲ですが、今年には新隠岐空港の開港を記念して、5年ぶりに開催されました。第12回大会となる今回は、空港に隣接する「空港ふれあい公園」に作られた特設土俵を舞台に、夜通し18時間に渡る熱戦が繰り広げられました。

また、同じく空港開港記念として、7月から2ヶ月間にわたり「隠岐相撲祭」として、「隠岐相撲サミット」や「こども相撲隠岐大会」などのイベントが開催され、人気を博しました。



鳥が沸き立った古典相撲

取り扱いには注意してください。来年は火災のない1年にしましょう。

2月～ 初めて迎えた「竹島の日」 領有権・漁業権確保のために

昨年3月16日、島根県議会で「竹島の日」条例が成立し、日本国内のみならず韓国も巻き込んで大きな話題となりました。

2月22日、条例制定後初めて竹島の日を迎えた今年は、県内で講演や研究会など様々な活動が行われました。隠岐の島町でも、4月には組織再編で総務課内に「竹島対策係」を設置（行政係兼任）し、窓口を明確にした他、竹島と関係の深い



役場1階に展示中の「竹島の石」

久見地区に竹島問題を啓発する大看板を設置、7月には町生涯学習センターで、竹島問題の第一人者、拓殖大学教授の下條正男氏を迎えて竹島問題講演会を開催、また隠岐の島町役場ロビーに「竹島の石」を展示するなどの活動を行いました。その他、国への陳情なども続けており、町では今後も問題解決に向けて行動を続けていきます。

10月 コウノトリ飛来1周年 命名・特別住民票を交付

昨年飛来して以来、五箇地区の重瀬港付近に住み着いているコウノトリですが、今年10月で最初に確認されてからちょうど1周年になりました。これを記念して名前を募集し、厳正な審査の結果、名前は「隠岐の島 幸（さち）」



静かに見守ってください

通称「さつちゃん」と決定しました。特別住民票が交付され、「しあわせはこぶとり1号」として町民の一員に加わった「さつちゃん」。これからも隠岐の島に一日でも長くいつづけて、幸せを運んでほしいものです。

11月 隠岐汽船経営再建へ

レインボウの欠航や公共事業の削減による車両運搬などのビジネス利用の減少、近年の原油高による燃料費の高騰などの悪条件が重なり、隠岐汽船の経営は深刻な状態となりました。

4月～ 産婦人科医不足問題解決へ しかし依然予断を許さず

昨年来問題となってきました産婦人科医不足問題は、今年の4月に入っついに医師が不在となり、危機的状況を迎えるに至りました。後任に内定していた医師も家庭の事情で勤務できなくなるなど二転三転がありました。8月末から10月末まで期間限定で船津医師が着任され、医師不在の状態はひとまず解消されました。そして10月16日から関係者の努力により医師2人体制が復活（1人は1週間交代で派遣）し、一応の解決を見ました。ただ、県内の医師不足は依然深刻で、予断を許さない状態が当面続くものと思われま。町としては、引き続き医師確保に向けての努力をしていきます。



感謝状を贈呈を受ける船津医師

11月3日には、県がフェリー「おき」を19億円で買い取る支援策を発表、続いて8日、隠岐汽船は人件費の削減や高速船レインボウ一隻減などを盛り込



島民の生命線として

んだ経営再生計画を発表し、2008年度末で経営黒字化・債務超過の解消を目指すことになりました。

他にもこんなことがありました

4月27日 センター試験を来年度から隠岐で実施することが決定

大学入試センター試験が、来年度から隠岐でも実施されることになりました。受験生に朗報です。

7月中旬 大雨で被害多発

蛸木道路が土砂崩れで通行不能になるなど、町内各所で交通網を中心に被害が出ました。

9月7日 遊覧船乗船5,000人達成
ローソク島遊覧船の「しゃくなげ」乗船者が5,000人を突破しました。

隠岐の島 NEWS FLASH



文化発表会では多彩な演目に観客は大喜び

みなぎる活気の原動力 隠岐の島町いきいき祭

11/26

11月26日(日)、都万中学校を主会場とした周辺一帯で、「第2回隠岐の島町いきいき祭」が開催されました。オープニングの餅投げで賑やかに始まると、各コーナーには多くの来場客が押し寄せるようにつめかけ、活気に満ちた幕開けとなりました。午後からは文化発表会が行われ、多数の参加団体による熱演に、都万中学校体育館は歓声でいっぱいでした。今後も、五箇・布施と、毎年会場を変えて実施していきますのでよろしくお願いたします。



多くの来場客で賑わいました(いきいき祭り)

心のこもった演技に感動！ みんなでつくる発表会

12/3



練習に練習を重ねた見事な演技に大きな拍手が！

隠岐の島町から 2名の方が叙勲受賞

■議員として地域発展に寄与
石田茂夫(いしだしげお)さん



石田茂夫さん(旭日単光章)

元都万村議会議員の石田茂夫さんが、高齢者叙勲において旭日単光章を受章されました。石田さんは、昭和38年に都万村議会議員に当選して以来、昭和54年まで16年にわたり村政発展に貢献されました。

■隠岐の安全を守るため尽力
沙魚川幸弘(はげかわゆきひろ)さん



沙魚川幸弘さん(瑞宝単光章)

元隠岐島町村組合消防司令長の沙魚川幸弘さんが、危険業務従事者叙勲において瑞宝単光章を受章されました。沙魚川さんは、昭和48年から平成14年までの30年間にわたり、隠岐島民の安全を守るために尽力されました。

新連載

わがところ 知っとこ

第1回 自然編vol.1

ロシアまで渡った!? 隠岐産の黒曜石

このコーナーでは、隠岐の自然・歴史や文化などについて、様々なエピソードを交えながら紹介していきます。気軽に読むうちに、いつの間にかあなたも隠岐通!?

よって判明しています。このことは隠岐産の黒曜石が良質であったため、古代の生活には欠かせない石であったことを物語っています。この隠岐黒曜石が運ばれた道によってその当時の盛んな人・文化の交流の道も見えてきます。しかし、何よりも驚くべきことはGPSも機械もない遙か昔に、海を渡って交流していたというその航海術や文化の高さなのではないでしょうか。丸木船で日本海を渡り大陸との交流をしていたということは、私たちの想像をはるかに超えるものがあります。



※OKIまるごとミュージアム(風待ち海道倶楽部刊)より

●隠岐について、より詳しく学びたいという方は「隠岐の島わがとこ知っとこ講座」(町内公民館各分館・風待ち海道倶楽部主催)がおすすすめ。只今、各分館単位での申し込み受付中です。詳しくは、西郷・布施・五箇・都万の各公民館まで!

四・季・菜レシピ

季節の野菜の健康レシピ

イカの納豆あえ



熱量	たんぱく質	脂質	塩分	カルシウム
65kcal	10.2g	1.5g	0.2g	21mg

※1人当り栄養価

このレシピで取れる野菜の量	30g
一日に必要な野菜の量	350g



材料(2人分)

イカ刺身用…80g にんじん…25g
貝割れ菜…10g 納豆…20g 梅干…5g
かつおぶし…2g 焼き海苔…1g

作りかた

- ① イカを刺身状に切る。
- ② にんじんは3cm長さのせん切り、貝割れ菜は根を取り除き、半分に切る。
- ③ 納豆にたたいてつぶした梅干とかつおぶし、焼き海苔を混ぜる。
- ④ ①、②を③で和える。

お勧めポイント

イカのおいしくなる季節! イカにはアミノ酸の1種で、血圧降下作用や総コレステロールを下げ、善玉(HDL)コレステロールを増やす働きがあるといわれる「タウリン」が含まれています。

としよかん

隠岐の島町立図書館

電話 08512-2-2341
FAX 08512-2-9198
メール s-tosho@mx.miracle.ne.jp

開館時間 10時～18時

閉館日 (月曜日・第3日曜日・祝日)
祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

祝 図書館入館者50万人突破！

12月2日(土)、隠岐の島町図書館の平成11年7月開館以来の入館者が50万人を突破しました。

これを記念して、隠岐の島町図書館では教育長、隠岐の島町教育文化振興財団理事長などが出席し、入館者50万人記念式典が行われました。

記念すべき50万人目となったのは城北町にお住まいの黒崎知さんでした。休日に図書館をよく利用されるということで、この日もお嬢様と奥様とご家族で来館されました。

黒崎さんには教育長から、花束と記念品が贈られました。

入館者50万人という数字は隠岐の島町の町民17,000人が一人当たり30回利用したことになります。これからも隠岐の島町図書館をますますご利用頂きますようよろしくお願い致します。



幸運な50万人目となった黒崎さんご一家

蔵書点検のため休館します

1月21日(日)～1月27日(土)まで、蔵書点検を行いますので図書館は休館となります。利用者の方には大変ご迷惑をおかけ致しますがご了承ください。

なお、蔵書点検時にお手伝い頂くボランティアの方を募集しております。

蔵書点検とは・・・

本とデータを照合し、実際にその本があるかどうかを確認していく作業です。決められた本棚に無く、迷子になっている本を今どこにあるのか追跡・調査し、本のある場所と目録が正しく一致しているかを点検します。

○作業内容

本に貼ってあるバーコードをポケット端末機という携帯用の端末機をぶらさげて一冊一冊なぞっていきます。読み漏れのないよう確認しながら作業します。

○本の追跡調査

読み込んだデータと所蔵データを照合します。その結果、データと合わないものがいくつかできます。あるべき場所がない資料については不明リストから調査作業にはいります。本があるべき場所になくて、別の場所にあたり、行方不明の場合もあります。

お求めの資料を確実に提供していくために必要な作業です。ご理解とご協力をおねがいします。

癒しの空間へようこそ

～図書館は極上のリラックススペースです～

図書館は本が嫌いな方にも充分楽しんでいただける空間です。

図書館は本を読むためのスペースではありません。図書館には本以外にも雑誌・CD・DVDがあり全て無料で利用できます。

お休みの日に図書館で映画鑑賞などしてみたいかがでしょうか？

その他にも図書館は、友人や恋人とお茶を飲みながら語り合ったり、誰かと待ち合わせをしたりとさまざまなことに利用できると思います。

あなただけの図書館利用法をみつけてください。

図書館は一年中快適に過ごせます。

図書館では常にリラクゼーション効果のある音楽が流れています。さらに、冷暖房完備で一年中快適な温度を保っています。すてきなソファでくつろぎながら、あなたの心と体を癒してください。

図書館で絵画鑑賞もできます。

図書館には各コーナーに素敵な絵画が飾ってあります。絵画をみながらホッとひといき。いかがですか？

※図書館の今月のテーマは“癒し”です。

癒しに関する本を展示していますので、どうぞお借りください。

公民館コーナー

五箇公民館

早寝早起き朝ごはん 健康なからだ元気なあいさつ

●今年で40回目の開催

毎年恒例の『五箇地区冬期体力づくり教室』を開催します。
年初めの体力づくりのスタートとして、1年間の健康を願う強靱な精神と体力増進への意欲と態度を養うため開催しています。

毎年大寒の時期にあわせ開催し、約150名の参加があります。

隠岐の島町在住であれば、どなたでも参加できますが、幼児と小学1年生は、保護者同伴を原則とします。



今回は1月28日から2月3日の1週間、午前6時30分から7時30分まで、折り返しのランニングで、体力づくりの一週間が始まります。また、稽古後の朝食も楽しみの一つです。(写真は前回の様子です)

●皆様のご参加をお待ちしています

参加希望、ご不明な点など詳しくは、五箇公民館(電話5,9011)までお問い合わせください。

第40回五箇地区冬期体力づくり教室
日時 平成19年1月28日(日)
～2月3日(土)

(稽古) 午前6時30分～7時30分

(朝食) 午前7時30分～8時

参加料 一人1,500円

(朝食不要の場合は1,000円)

会場 五箇町民体育館、

五箇中学校体育館、

五箇中学校運動場、他

五箇地区冬期体力づくり教室実行委員会

主催 五箇公民館

後援 隠岐の島町教育委員会
五箇小学校・五箇中学校



今津分館ミニ文化祭

11月11日(土)・12日(日)の2日間、今津集会所で第4回今津分館ミニ文化祭が盛大に開催されました。

今年度より今津保育所園児の手芸作品と今津小学校児童の習字が展示され、今まで以上に年代層が厚く今津分館らしい家庭的な文化祭となりました。



今津保育所園児の作品

また、役場保健師による健康チェックと栄養士による減塩・野菜たっぷりのお試しメニュー、バザーでは、今年収穫した今津そばとせんざいが提供されました。

西郷公民館

絵手紙講座

9月下旬から10月上旬にかけて3回シリーズで絵手紙講座を開催しました。講師に吉田美貴子さんをお迎えし、西郷公民館文化祭への作品展示を目標に、16名の受講生が熱心に取り組みました。

初めて受講された方も多く、季節の画材を一つ一つ見つめながら一生懸命、それぞれ思いのこもった温かみのある作品に仕上げました。気に入った作品が出来ると、「遠くの孫にこの絵手紙を出してみたいな」「私は最近話さなくなった夫に出そうかな」など和気あいあいとした雰囲気の中、筆も楽しく進みました。



孫に出そうかな?

～ 学校等統廃合説明会の状況 ～

著しい少子化の進行並びに行財政改革により、全国で学校の統廃合が進められています。本町でも、極小規模校が多くなり、教育委員会としては、子どもたちが社会性を培い、自立性を養うための教育環境の充実を図るためには、学校統廃合（学校再編成）は避けて通れない状況であると危機感を持ち、保護者並びに地区住民の皆様の合意を得るため、4月以降20数回の説明及び意見交換会を開催しました。出席者は思ったより少なかったのですが、各地区とも活発な意見交換ができました。

ここで、主なご意見のほんの一部ですがご紹介し（紙面に限りがありますので、全てのご意見を掲載できないことをお詫びします）。

《那久小学校区》

- ◎ 小学校が無くなれば、若い人たちが那久に住まなくなり、地域が寂れる。
- ◎ 地域は学校と一緒に子どもたちに好かれる学校づくりをしており、子どもも那久小で卒業したいと言っている。
- ◎ 地域の特色ある学校を残そうという考えはないか。
- ◎ 小規模校を廃止するのではなく、那久小にきたいという子は来させたらよい。

《布施小・中学校区》

- ◎ 小中一貫教育で成果が出ており、小規模校のモデル校として存続させ、広く周知すべき。
- ◎ どうしても統合なら中学校だけにしてほしい。
- ◎ 下の子は上を目標に、上の子は下の子をいたわる心が育っている。他校に統合された場合「イジメ」が心配だ。
- ◎ 布施の給食は地元の食材を多く使い、食育の面からも廃止は納得できない。なぜ布施が先なのか、管理経費は五箇、都万の給食センターのほうが多い。同時廃止なら多少理解できる。



《中村小・中学校区》

- ◎ 中村と布施の学校が統合しても規模はそう変わらない。何年か先にまた統合の話が出るのなら、今回もっと広域的な統合を考えるべき。
- ◎ 小学校の統合は布施とで良いと思うが、中学校は体力もつき道路も良くなるので、大きいところ（西郷地区）へ通わせたい。スポーツの選択肢も広がり、同級生も多くなるのは良い。
- ◎ 子どもの数から見ると統合は仕方ない。布施の人が小中学校どちらか1校は残して欲しいと言うのも理解できる。学年に1人という現状を見ると本当に統合が必要だと思う。
- ◎ 地域の活性化が失われる恐れがあり、個人的にはより広範囲の統合は反対だ。但し、子ども達の社会性のレベルアップなど教育面からは理解できる。

《大久小学校区》

- ◎ 西郷小へ吸収ということではなく、3校が一緒になって新たな学校を編成するという同じ意識で取り組むようにしてほしい。
- ◎ 小規模校もいいよということで新しく建ったのに、なんとか学校を残す方法はないのか。
- ◎ 大久は迂回路が無いなど道路状況が非常に悪い。地域の方向性や基盤整備の時期を示しながら統廃合の話をするべき。
- ◎ 子どもが少なくなり、松江から地元出身者を呼び帰したり、定住対策で大阪から来てもらったりしている。特に定住対策では、保育所や学校があるから来てくれと宣伝したり、住居整備等をしてきたのに、この統廃合で呼んだ人たちが帰ってしまったら大久はどうなるのか。

《飯田小学校区》

- ◎ 受け入れ側の学校（西郷小学校）の保護者・児童への周知をしてほしい。親も子どもも不安があるので、保護者がどういう気持ちなのか知りたい。
- ◎ 学校再編成ということであれば、学校の位置は仕方ないとして校名変更はできないか。
- ◎ 旧東郷村から教育関係機関が無くなるのは不均衡だ。小学校の統合は仕方ないと思うが、地域の振興策について、町の関係各課も集まって検討して欲しい。
- ◎ 賛成だがスクールバスを運行して欲しい。歩道が整備されておらず、雨や雪のとき、それに不審者など親は心配だ。



隠岐の島町子ども居場所づくり

隠岐の島町では、放課後や休日に地域の大人の協力を得て、子どもたちにスポーツを楽しんだり、自由に遊べる場所として、隠岐の島町総合体育館、西

「地域に関する取組が意外と多く感じました。いずれは子どもたちも一度は島外に出るときがあると思いますが、自分たちには立派な故郷があるんだということを感じられる教育をして欲しいと思います。」と、ふるさと教育を応援する言葉をたくさん頂きました。これからも、「ふるさと大好き」な子どもたちを育てていきたいと思っています。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。

ふるさと教育推進事業

平成17年度から3カ年の事業として、「豊かな心を育み、ふるさとに誇りを持つ児童生徒の育成を図る」「ふるさと教育をとおして、学校・家庭・地域の連携協力を図り、生涯学習社会の構築を図る」ことを目標に、地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用した教育活動を進め、「どうも人財バンク」の整備を推進し、その活用を積極的に進めてきました。（平成17年からの取組で300名以上の方に地域講師として学校教育に関わってもらっています。）

そして今回、その取組を広く町民の皆様を知って頂くために、隠岐の島町いきいき祭の中でパネル展示やビデオで紹介し、200名以上の方に観て頂くことができました。

「子どもたちは、自分で作った、世界で一つだけの万華鏡の中で広がる神秘の世界に感動していました。そして、次々と繰り広げられる不思議な科学の世界に魅せられていました。来年度は、開設場所を増やして居場所づくりに取り組んでいく予定です。」

今回、その居場所の活動の一つとして、「ワクワク科学実験」を西郷小学校の理科室で開催しました。出雲科学館館長の曾我部國久氏を講師に迎え、万華鏡づくりと科学マジックショーを行いました。

現在、居場所でも子どもたちと一緒に活動していただける安全管理員を募集しています。詳しくは、隠岐の島町教育委員会生涯学習課までお問い合わせ下さい。（2-12126）



子どもたちは、自分で作った、世界で一つだけの万華鏡の中で広がる神秘の世界に感動していました。そして、次々と繰り広げられる不思議な科学の世界に魅せられていました。来年度は、開設場所を増やして居場所づくりに取り組んでいく予定です。



町の元気印 第9回 おおにし あさこ 大西朝子さん

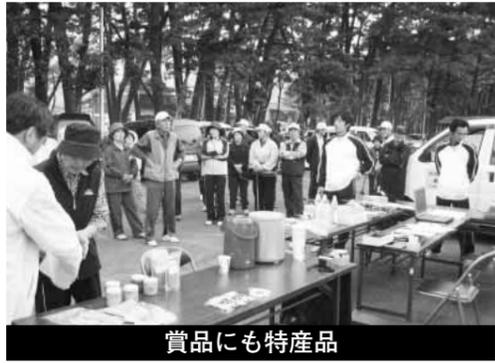
今回の元気印は、「隠岐の島町婦人会会長」、また「隠岐・花の里づくり女性の会会長」として活躍しておられる大西朝子さん（布施）です。隠岐の島町合併を機に発足した隠岐の島町婦人会の中心となり、環境問題を中心に積極的に活動されています。特に～“隠岐は絵の島 花の島”～「隠岐しげさ節」の歌詞のように、この島が花々であふれ、住む人、訪れる人にやさしい気持ちが届けられたらとの願いを込め、町内各地の植栽活動、全島の花スポットを紹介した「花マップ」作成、隠岐固有種（トウテイラン等）の保護活動等、各支部で人々の共感を得るため地道な活動が続きます。その成果はすぐには見えてこないかもしれませんが、大西さん達のこの熱い思いが、世代を超え、地域全体に根をはる大きな動きとなるはず。がんばれ！花の里のみなさん！ がんばれ！大西さん！



隠岐・花の里づくり女性の会のみなさん（前列中央が大西さん）

中村地区 武良のゲンキ玉ウォーキング&グラウンドゴルフ大会

11月5日(日)中村のさざえ村を主会場に「武良ウォーキング&グラウンドゴルフ大会」が開催されました。武良ウォーキングは中村地域と布施地域の体育指導委員、グラウンドゴルフ大会は教育委員会による開催です。ウォーキングでは出発前の健康チェックに始まり、ウォーキング教室、さらに準備体操では、健康相撲体操を行いました。全員が自分のペースで歩き、約3キロメートルのコースでし



賞品にも特産品

た。ゴールには「特製ちゃんこ鍋」がまわっていて、参加者は大喜びでした。ちゃんこ鍋は、布施のポールレスト(小新さん)のご協力による手づくりです。グラウンドゴルフ大会では、大勢の方が参加し、熱戦を繰り広げました。こちらでは、さざえ村の特産品なども賞品として提供され、地域の特色を見ることができました。



まわしを巻いての健康相撲体操もしました

11月19日(日)、布施地区において「浄土ヶ浦まつり」が開催されました。心配されていた天候もどうにかもち、にぎやかに開催することが出来ました。実行委員長、町長のあいさつで始まると、13の屋台が入ったテントはたくさんの人出で、大きな声飛び交いにぎわっていました。海産物、野菜、飲食物等々様々な出品があり、早いところでは、一時間もたないうちに完売とな



ったようです。サザエのつかみ取りでは、子供から高齢者の方まで参加し少しでも多くつかもうと一生懸命にチャレンジしていました。また、エナジーハウスによるバンド演奏も行われ、会場の雰囲気が大いに盛り上がりました。このイベントが今後も続くよう地域全体で盛り上げて行こうと考えていますので、是非開催の際にはお越し下さい。

布施地区 浄土ヶ浦まつり

五箇地区 大賑わいの「五箇どんと祭り」

11月23日(木)、五箇生涯学習センターを会場に「五箇どんと祭り」が開催され、約2,000人の来場者で大賑わいの1日となりました。曇り空の肌寒い天候でしたが、来場者の熱気で寒さも吹っ飛ばようでした。



いよいよ盛りだくさんのバザーの開始です。会場内には42の出店がズラリと並び、海産物、農産物、飲食関係と品数も豊富で、中には来場者が行列をつくっている店も見られました。

ごか保育園の園児達によるかわいい鼓笛隊のオープニング、続いて山田地区の皆さんによる「にわか」と「神楽」の一番立てが披露され、観客



どっこいしょ〜どっこいしょ〜♪ソーランソーラン♪

平成18年11月17日(金)都万小学校でザ・都万小祭りが開催されました。子ども達の主体性や創造性を育てる場として毎年行われており、今年も元気いっぱいのみこし、大迫力の群読からスタートしました。会場にはたくさんのお客様や地域の方々が集まり、各学年で工夫を凝らしたゲームやお店は、大賑わいでした。



大盛り上がりのゲーム



「さつまいもコンテスト」おしりにへびにひょうたん!?

都万地区 ザ・都万小祭り

住宅補修ボランティアを実施しました

歳末たすけあい運動の一環として、島後建築組合の協力のもと70歳以上の独居高齢者のお宅の「ふすま」と「障子」のたてつけに関する補修を実施しました。

今回は25軒の住宅を補修いたしました。調査・補修にご協力いただいた関係者の皆様、誠にありがとうございました。(11月26日実施)



2級ホームヘルパーが41名誕生しました

隠岐地区雇用促進協議会、隠岐の島町商工会との共催で、7月22日から12月9日にかけて、訪問介護員養成講座2級課程を開催しました。これは、隠岐の島の福祉を支える人材育成と雇用促進を目的として行われたもので、130時間の講義・演習・実習を経て41名が修了証を手にとられました。



- 加茂 都方 港町 有木 油井 上西 城北 原田 飯田 東郷 香典御礼(金一封)
- 清川 日野 山内 斉藤 森田 平津 米津 脇藤 吉田 東郷 香典御礼(金一封)
- 尤 俊郎 政司 幸子 憲孝 美子 順子 良男 操学 東郷 香典御礼(金一封)
- 有木 佐々木 松平 卯敷 辰野 広 見舞御礼(金一封)
- 平 高井 登 篤志御礼(金一封)

見舞返しや香典返しとして次の方々より多額のご寄付をいただきました。紙上にて厚くお礼申し上げます。お寄せいただいた浄財は本町の福祉向上のために、有効に活用させていただきます。

平成18年12月12日までの受付分

- 都方 倉見区 31件
- 西田区 追加12件
- 特別会費 半田内科クリニック 高村 順幸
- その他 (孫の手41本) 東郷 坂本 三郎 西村 艶子

- 都方 野津 田下 金岡 大府 金岡 下岡 城北 藤澤 下岡 有木 藤澤 下岡 西郷 山本 菊子 中郷 渡邊 本代 東郷 藤野 光太郎 東郷 藤野 光太郎 飯田 吉村 義直 都方 高梨 文子 栄町 吉岡 正吉 都方 高梨 文子

新役員・評議員紹介

先般、隠岐の島町社会福祉協議会 理事会・評議員会が開催され、理事、監事、評議員の選任が行われました。理事、監事に関しては、平成20年11月24日、評議員に関しては、平成20年11月10日までの任期となります。(順不同・敬称略) (※新任)

理事	
会長 井上 雅夫	栄町
副会長 出川 博康	布施
八幡 美恵子	代
奥元 美喜男	蛸木
的射 利定	中村
土井 福弘	西村
竹林 行政	今津
秋庭 ゆみ子	原田
吉田 義隆	原田
監事	
大西 利明	港町
藤田 俊夫	南方
評議員	
鳥井 勝夫	大久
松田 新五	港町
吉田 運一	原田
清川 庄一	加茂
土井 幸子	西村
長田 初枝	布施
大西 朝久	向ヶ丘
尾見 晃二	代
八幡 根友夫	津戸
山根 清	都万
高梨 敏子	公民館
田黒 輝美	保育連
吉田 悦夫	西町
松岡 茂	郡
岸田 マサミ	中町
小田 泰史	南中学校
見浦 和子	西田
八幡 正隆	久見
村上 敬子	都万
佐藤 シズ	犬来
笹井 昭	西町
森口 光春	有木
藤野 晃	東郷
柳原 忠正	郡
湯川 弘子	布施
阿波 三省	卯敷
岸根 伴都	卯敷
柳原 三千代	小路
金岡 弘子	那久
齋藤 節子	都万
本井 マスミ	下西
吉田 俊文世	南方

福祉

社会福祉法人 隠岐の島町社会福祉協議会

TEL 08512 (2) 0685
FAX 08512 (2) 4517
E-mail saigo-fukushi@proof.ocn.ne.jp

No.13



本会事業に関する苦情申出窓口

本会の事業を利用する皆様からのご意見や苦情をいつでも承り、適切な解決と必要に応じた改善、職員の資質向上につなげるため「苦情解決実施要領」を整備し、公正な立場で苦情解決に関わる第三者委員を設置しています。

本会の事業を利用して、お気づきの点がございましたら、下記までお寄せ下さい。

記

苦情受付担当者

五条 由加利 (ごじょうゆかり)・山西 吉美 (やまにしよしみ)

〒685-0027
隠岐の島町原田396番地 隠岐の島町社会福祉センター

電話 2 - 0685 / FAX 2 - 4517

苦情解決責任者

事務局長/村上 勝 (むらかみまさる)

第三者委員

大槻 寛長 (おおつきかんちょう)	室山 鶴美 (むろやまつるみ)
〒685-0011 隠岐の島町栄町394番地	〒685-0027 隠岐の島町原田1155番地
電話 2 - 2756	電話 2 - 5431

夕映え

塩の浜付近で見ることが出来る
ウミネコの群れです。
岩場で一休みしているところでしょうか。
晩秋から初冬にかけての一場面。



復活！水泳大会 プールの利用拡大を願って

平成3年を最後に中止となっていた水泳選手権大会が、15年ぶりに、町立屋内温水プールを会場に、「水泳競技会」として復活しました。

隠岐の島町体育協会（会長＝藤村一男さん）主催で12月3日（日）に行われたこの大会には、5歳から70歳代までの72名が参加、日頃の練習の成果を競い合いました。

復活第1回目の大会とあって、大勢のギヤラリーがかけつけ、用意された客席もいっぱい。暖かな声援が送られる中、選手も楽しみながら競技に臨んでいたようです。

プール運営委員会会長を務める齋藤正子さんは、「熱望していた大会が、信じられない位に盛大に開催できて喜んでいきます。これを契機にたくさんの人にプールを利用してほしい。」と、熱く語っておられました。



これからの季節、屋内温水プールで“快適に”体力づくりをしてみませんか

総合誌隠岐の島1月号

（通算第27号）

■編集・発行

隠岐の島町役場総務課広報広聴係

〒685-8585

島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地

TEL(08512)2-2111（代表）

FAX(08512)2-6005

■ホームページ

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

■Eメール

jouhou@town.okinoshima.shimane.jp

一・月・一・話

師走も半ばを過ぎると、年の瀬の雰囲気も世間に漂ってきます。年末らしく、本誌でも町の一年をまとめてみました。今年の反省、来年の課題——誰しもそれぞれ思うところはあるでしょう。今年一年を振り返ることで、皆様の思量の一助となれば幸いです。

一年の世相を反映する漢字「今年の漢字」が、「命」に決まったそうです。秋篠宮ご夫妻に悠仁さまがお生まれになった一方で、いじめ自殺問題、虐待や飲酒運転事故、また隠岐の島町でも深刻化した産婦人科医不足問題など、命の大切さを問われるような出来事が目立った年だったことから選ばれたようです。

いじめ自殺問題は連日のように報じられました。子供に命の大切さをどう教えるか、というのはおそらく10年以上前から言われ続けてきたことです。話題に上がる度にゲームが悪い、テレビが悪い、マンガが悪いと決め付け安心するというパターンが繰り返されてきた結果、何か大切なことを見逃してしまっている、そんな気がしてなりません。

何はともあれ、皆様よいお年を。

（安）